

令和 7 年 2 月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和 7 年 2 月 1 7 日 午後 1 時 3 0 分開会 午後 3 時 3 3 分閉会	
開 催 場 所	志木市役所 教育委員会議室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、岩澤千恵子教育長職務代理者、 上野幸子委員、飯田昌利委員、可知良之委員
	欠 席	なし
説明のため出席 した者の氏名・ 職名	今野教育政策部長、成田参事兼教育総務課長、佐野参事兼学校教育課長 、土崎参事兼生涯学習課長、坂口教育サポートセンター所長、佐藤学校 教育課副課長、尾崎学校教育課指導主事、徳留生涯学習課主幹、新井生 涯学習課主任	
会 議 書 記	石田教育総務課主事	
傍 聴 人	2 人	
会 議 内 容	議 題 第 3 号議案 志木市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 第 4 号議案 県費負担教職員人事の内申について 第 5 号議案 志木市立教育サポートセンター管理規則の一部を改正する規則について 協議事項 令和 7 年度志木市教育行政重点施策（案）について 報告事項 （ 1 ）令和 6 年度志木市人権に関する標語の優秀作品について （ 2 ）新体力テストの結果について （ 3 ）郷土資料館及び埋蔵文化財保管センター再整備事業について （ 4 ）秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備事業について その他	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○柚木教育長

令和7年2月定例教育委員会会議の開会を宣す。

傍聴希望者について、傍聴を許可した。

＊＊ 傍聴人 入場 ＊＊

議事録署名委員に飯田委員を指名した。

会議書記に石田主事を指名した。

1月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎教育委員会報告

○今野教育政策部長

令和7年1月定例教育委員会後の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 1月24日 埼玉県都市教育長協議会第4回定例会
第50回太陽展（25日まで）
- ・ 1月27日 教職員人事評価校長達成状況申告教育長面談
埼玉大学教育学部附属中学校校内授業研究会視察
宗岡第二中学校 1年生宿泊学習（29日まで）
- ・ 1月29日 旧村山快哉堂「雛のつるし飾り」（3月10日まで）
- ・ 1月30日 教職員人事評価校長達成状況申告教育長面談
- ・ 1月31日 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問
（志木第二小学校）
- ・ 2月 1日 令和7年志木市体育協会新年賀詞交歓会
市場文化展（2日まで）
- ・ 2月 2日 志木第二中学校 1年生宿泊学習（4日まで）
- ・ 2月 3日 志木中学校 1年生宿泊学習（5日まで）
- ・ 2月 5日 志木中学校 2年生宿泊学習（7日まで）
宗岡中学校 2年生宿泊学習（7日まで）
- ・ 2月 6日 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問
（宗岡第四小学校）
志木市青少年育成市民会議「青少年非行・薬物乱用防止講演会」
郷土資料館特別展「ひなまつり」（3月9日まで）
- ・ 2月 7日 令和6年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会
- ・ 2月 9日 第31回志木市芸能祭
- ・ 2月12日 定例校長会
- ・ 2月13日 第6回志木市いじめ防止対策委員会

- ・ 2月14日 志木小学校150周年記念式典
- ・ 2月15日 市民なわとび大会

教育長発議

○柚木教育長

第4号議案 県費負担教職員人事の内申については、人事案件であるため、志木市教育委員会会議規則第5条第1項第1号の規定により会議を公開しないことを発議する。

教育長の発議を受けて、採決した結果、第4号議案については、志木市教育委員会会議規則第5条第1項第1号の規定により、会議を公開しないことを議決した。

○柚木教育長

第4号議案については、非公開案件であるため会議の最後に審議することとしてよいか。

○全委員

了承する。

◎第3号議案 志木市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

○柚木教育長

第3号議案 志木市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○成田参事兼教育総務課長

志木市教育委員会事務局組織における職の任命について、指導主事の職務の級を明確にするため、市の職員としての職と、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定する指導主事を兼務することができる規定とするものである。また、社会教育法に基づく、社会教育主事及び社会教育主事補についても同様である。

○柚木教育長

質問はあるか。

○柚木教育長

4月以降、具体的に指導主事はどのような発令になるのか。

○佐野参事兼学校教育課長

これまでは庁舎内での職名も指導主事となっていたが、今後は、市役所職員の職名の実情に合わせ、例えば「課長兼指導主事」のように、指導主事だけでなく庁舎内の職名も追加された形での発令となる。

○柚木教育長

他に質問はあるか。

○全委員

なし。

○柚木教育長

第3号議案 志木市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則については、原案のとおりとしてよろしいか。

○全委員

異議なし。

○柚木教育長

第3号議案 志木市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則については、原案のとおり可決された。

◎第5号議案 志木市立教育サポートセンター管理規則の一部を改正する規則について

○柚木教育長

第5号議案 志木市立教育サポートセンター管理規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○坂口教育サポートセンター所長

令和7年4月1日より志木市役所の開庁時間が変更されることに伴い、志木市立教育サポートセンターの管理規則の一部を改正する必要があるため提案するもので、開所時間の、「午前8時30分から午後5時15分まで」を「午前8時45分から午後4時30分まで」に改正するものである。

○柚木教育長

質問はあるか。

○委員

学校配置の相談員については、勤務時間の変更等はあるのか。

○坂口教育サポートセンター所長

開所時間が変更になるのは教育サポートセンターのみであり、学校の教育相談室は学校で時間を決めているため変更はない。また、相談員等の派遣職員については、勤務時間が午前9時から午後5時までと決まっているため、修正はない。

○**柚木教育長**

他に質問はあるか。

○**全委員**

なし。

○**柚木教育長**

第5号議案 志木市立教育サポートセンター管理規則の一部を改正する規則については、原案のとおりとしてよろしいか。

○**全委員**

異議なし。

○**柚木教育長**

第5号議案 志木市立教育サポートセンター管理規則の一部を改正する規則については、原案のとおり可決された。

◎**協議事項 令和7年度志木市教育行政重点施策（案）について**

○**成田参事兼教育総務課長**

令和7年度に取り組む、志木市教育行政重点施策（案）について説明する。生成AIなどの革新的な技術の進歩をはじめ、前例のない災害発生や国際情勢・経済状況の変化など、目まぐるしく変わる時代の転換期に直面し、社会が大きく変化していく中で、教育行政においても課題に柔軟に対応し、関係部門と連携して施策を展開していく。具体的には、課題となっている教職員の働き方改革や学校、教職員への支援、サポート体制については、他市に先駆けたさまざまな取組を強力に進める。本市の大きな特色である、スマート教員をはじめとする市費による人材活用は、小学校低中学年におけるスマート教員に加え、中学校の教員が小学校で指導するコネクト支援教員を配置する。不登校支援については、新たに校内支援ルームを各中学校に設置し、必要な時に支援が行き届くよう、不登校対策支援員を全中学校に配置する。生涯学習においては、市民と共に郷土資料を総合的に保存・活用するための拠点として郷土資料館及び埋蔵文化財保管センターの再整備を進め、機能の強化を図る。スポーツ推進においては、秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備事業として、さまざまなスポーツレクリエーションを楽しむことができるだけでなく、地域コミュニティの活動場所となるよう施設整備を行い、市民のスポーツ振興や地域コミュニティの向上に繋げる。いろは親水公園左岸においては、試行的に設置したアーバンスポーツエリアを令和7年度から常設のエリアとして整備し、若い世代もスケートボードなど、新しいスポーツを楽しめる機会を創出する。その他、施策の体系等詳細については資料のとおりである。

○**委員**

施策の体系の記述について、新規事業がわかりやすいように黒丸が付いているが、黒丸はマイナスのイメージを強く感じてしまうため、例えば二重丸にする等、プラスの印象になる

マークを採用するのはどうか。

○成田参事兼教育総務課長

検討させていただく。

○委員

重点施策内の不登校支援についての記述で、「必要な時に必要な支援が行き届くよう」という文言があるが、「即座に」等、すぐにと意味の言葉を追加するのはどうか。また、部活動改革について、「部活動の地域展開」とあるが、「地域展開」とこれまで使用していた「地域連携」では意味合いが違ってくるのではないかと感じた。

○成田参事兼教育総務課長

不登校支援の文言については担当課と相談し、調整させていただく。

○佐野参事兼学校教育課長

部活動改革については、国が「地域展開」という文言を使用していることから、本市の重点施策においても使用している。

○委員

教職員の資質の向上について、「大学との連携」ではどのようなことを考えているのか。

○佐野参事兼学校教育課長

現在、東洋大学との包括協定を結ぶ準備をしている。具体的な内容としては、大学からのボランティア受入れ等の人材活用、学校や教育委員会からは、教職を目指す学生たちの育成を考えている。

○委員

文中に「タブレット端末」という表現があるが、「一人一台端末」という表記が一般的であると思うので、修正するのはどうか。

○成田参事兼教育総務課長

検討させていただく。

○委員

「指導スキル向上を目的とした教職員研修や全教職員を対象とした授業改善訪問等」の文言について、教員と教職員を学校側は区別して使用しているため、教員限定であれば「全教員を対象とした」の方が良いのではないかと。

○佐野参事兼学校教育課長

来年度から、事務職員や栄養士についても授業改善訪問の中で指導していきたいため、こ

の表現としている。ただ、教職員研修については、全教職員を対象とした事業とすることは難しいため、文言を整理する。

○柚木教育長

今回いただいたご意見、ご提言を踏まえながら、次回3月定例教育委員会にて議案としてご提案させていただく。

◎報告事項（１） 令和6年度志木市人権に関する標語の優秀作品について

○佐野参事兼学校教育課長

令和6年度志木市人権標語について、今年度も小学3～6年生、中学1～3年生を対象に審査を行った。優秀作品や各受賞者は資料のとおりである。

◎報告事項（２） 新体力テストの結果について

○尾崎学校教育課指導主事

令和6年度新体力テストの結果について、テストが未実施となった令和2年度を除いた令和元年度から今年度までの変遷等を報告する。なお、埼玉県の結果については、学年別でデータが出ていないため、参考としてご覧いただきたい。

資料では県の指標に合わせ、埼玉県と志木市の小学校と中学校で、総合評価（男女合計）AからEの評価のうち、A・B・Cを足したものの割合がどうだったかを表している。本市の現状としては、小学校の数値が昨年度に比べて下がっており、特に小学1年生と小学6年生が大幅に下がり、課題が見受けられた。中学校については、昨年度と同水準で推移しており、例年同様、2年生ごろから県の平均を上回る結果となっている。また、各学校においては、数値が低い学校はどの学年でも低い傾向が見受けられるが、今年度は、4～6年生は良い結果でも、1～3年生でかなり低い結果となった学校もあった。小学校の先生は体育が得意ではない場合もあるため、体育の取組み方等も影響していると推察する。

○委員

小学校、中学校とも共通して、最も数値の高い学校が1年生を除いて同じ学校であるが、何か理由があるのか、どのような分析をしているのか教えてほしい。

○尾崎学校教育課指導主事

小学校、中学校共に同じ中学校区内の学校である。コロナ禍明けから、該当の小学校の数値が大幅に向上したため、取組について分析したところ、自校体操という学校の課題に応じた体操を体育で取り入れたということだった。その小学校を卒業した子どもたちが該当の中学校に進学するため、かなり体力の高い子どもが多く、数値が伸びていると考えている。また、同じ中学校区のうち、もう1校の小学校に関しても自校体操を取り入れ始めたと同っており、課題に適した取組を行うことが小中の連携にもなり、一貫した9年間を見据えていくことにつながっていると推測している。

○委員

これまで続けてきた小中一貫教育の一つの成果であると感じた。良い結果が出ているので、数値が上がっていない学校にも、効果のあった取組を広めていくと良いのではないかとと思う。

○委員

小学校には体育が専門の先生が少ないということだが、中学校には体育が担当の先生がいるので、小中一貫教育を進めていくうえで、連携しながらさらに強化することで、また違う数値が出るのではないかと感じた。

○委員

小学1年生の数値が昨年に比べすごく下がっているが、コロナ禍の影響があるのか。

○尾崎学校教育課指導主事

本市の特徴として、低学年の数値がかなり低い傾向があるが、今回最も数値が伸びなかった学校は、例年と比べても低い結果であった。体力向上推進委員からは、子どもたちへの指導や新体力テストへの取り組みせ方で差が出てしまっているという意見があった。

○佐野参事兼学校教育課長

コロナ禍明けから、1年生たちが体を動かす経験が不足しており、特に反復横跳び等の技術を要するような種目については経験が不足している印象である。幼稚園や保育園でも体を動かす場面が縮小傾向にあると感じているため、幼・小で連携しながら体力向上に向けて進めていきたい。

○委員

小学1年生の数値についてはあまり気にする必要はなく、これから運動の楽しさを学ぶことで体力が向上するのではないと思う。データを見ても2年生以降になると上昇傾向にあり、学校ごとの努力が表れていると受け取っている。

◎報告事項（3） 郷土資料館及び埋蔵文化財保管センター再整備事業について

○徳留生涯学習課主幹

本事業は、志木市公共施設マネジメント戦略に基づき、志木市立郷土資料館と埋蔵文化財保管センターを複合化し、郷土資料を総合的に保存活用するための拠点となる施設の整備を行うものである。施設の整備にあたり、埋蔵文化財保管センターの隣地の旧市民プール跡地を活用し、収蔵庫棟の増築工事を行うとともに、埋蔵文化財保管センターの改修工事を行い、展示スペースや体験スペースを設ける計画である。また、現在の郷土資料館は、再整備事業終了後、解体・除却する予定である。その他詳細については資料のとおりである。

○委員

1階外の増築部分には駐車できる設計になっているのか。また、増築部分の外壁はどんな素材を想定しているのか。1階改修部分のふれあいホールでは子どもたちとの体験学習を想

定しているとのことだが、ディスプレイや映像を流す設備等の設置は考えているのか。

○徳留生涯学習課主幹

1階増築部分の東側は基本的には公用車用の駐車場となっており、西側は、来館者が使用する駐車場を予定している。外壁はサイディングと呼ばれる通常の住宅に使われるような外壁を想定している。ふれあいホールにおける展示でのディスプレイ等については、展示室内で動画やスライドショーの展示を考えており、移動可能なディスプレイにすることでふれあいホールでの展示も可能となる想定である。施設自体が広くないため、映像資料等を活用して拡張的に文化財を知ってもらいたいと考えている。

◎報告事項（４） 秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備事業について

○土崎参事兼生涯学習課長

令和6年3月に策定した秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備の基本方針に基づき、今年度は新施設の設計を進めており、今回は設計の概要について説明する。この再整備は、老朽化した秋ヶ瀬スポーツセンターと志木市立武道館の両施設の機能を取り入れ複合化するもので、スポーツに加え、地域コミュニティの向上にも目を向け、多くの人々が触れ合えるような施設を考えている。設計やスケジュール等の詳細については資料のとおりである。

○委員

2階の多目的室では柔道や剣道ができるということだが、畳はあらかじめ敷かれているのか。また、2階マルチルームA・Bにつながっているホールは、何かに使用するホールなのか、それとも通路としてのホールという認識でよろしいか。最後に、マルチルームの備品はどのようなものを用意する予定なのか。

○土崎参事兼生涯学習課長

さまざまな武道を実施できるよう、畳を外すと床張りになる仕様のため、剣道等でも利用していただきたいと考えている。床面を利用する場合は畳を取り外し、備品室に畳を収納する想定である。次に、ホールは基本的にはマルチルームへ移動するための通路として考えている。マルチルームの備品は、さまざまな会議等でも利用いただきたいと考えており、机、椅子やダンス用の鏡の用意を想定している。また、全室土足禁止のため、各部屋の入り口に下駄箱を用意する。

○委員

多目的室を床面で使用する際、全ての畳を備品室まで運ぶのは大変であると思うが、運びやすくする工夫等はあるのか。

○土崎参事兼生涯学習課長

畳を運ぶカートを4台用意しているため、カートに畳を積んで備品室に収納することを想定している。その他備品については、ヒアリングをしながら進めていきたい。

◎その他

志木市青少年育成市民会議「青少年非行・薬物乱用防止講演会」の実施報告について

○土崎参事兼生涯学習課長

市内の関係団体26団体と賛同する市民で組織されている志木市青少年育成市民会議の活動事業の一環として、毎年講演会を実施しており、今回は総合福祉センターホールを会場に2月6日に実施した。対象者は志木市青少年育成市民会議会員、各小中学校児童・生徒の保護者、一般市民、児童健全育成事業登録団体で、広報やホームページ等で参加を募り、47名に参加いただいた。当日は「薬物乱用の根絶を目指して」を演題に、最近の非行少年の特徴と対応や非行防止について講演いただいた。当日の様子やアンケート結果等については資料のとおりである。薬物等の危険性や正しい知識を広めるためには学校や地域での啓発活動が重要であり、社会や地域全体で取り組む必要があるため、今後も講演会を実施していきたい。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○柚木教育長

公開による議事は終了とし、これより非公開とする。

＊＊ 傍聴人 退場 ＊＊

◎第4号議案 県費負担教職員人事の内申について

※第4号議案については、志木市教育委員会会議規則第19条第3項に基づき、審議結果を除き、公表しない。

第4号議案 県費負担教職員人事の内申については、原案のとおり可決された。

○柚木教育長

ほかになれば、これをもって令和7年2月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は原本)